

240誌100号発刊に寄せて

de J A I R I Z

100号発行おめでとうございます。

思い起こせば、私と240グループの繋がりには1984年からになります。

それは、10月20日0716JST頃CWでJJ1SXA局と50MHz/CWでQSOできたことがキッカケでした。その時、『JJ1SXA/M』のコールでしたから、いわゆる「モバイル半固定」でCWを発信していると思っていたら、「走行中」との事。そういえば信号が大きく変化していて変だなあと感じていました。走りながらCWが打てるのか(!?)、走りながら電信とは、にわかに信じ難いことで、ビックリした記憶があります。(その後、これに刺激され自分も走るCWマンの仲間になりました。)

イベントへの参加はそれから以後、しばらく期間が経ってからだったと思います。記憶にあるのは京王プラザホテルでの忘年会や、関東モバイルHAM同好会・読売ランド大会[1992年9月]です。(…河口湖大会[1986年9月]も参加しているように思うのですが記憶が...hihi。)

その頃は、モバイル移動していたメンバーが多く、各局がモバイルに長い長い5λ/8のアンテナを取り付けて走り回っていました。皆さん元気で、2エリアでのグランドミーティングには名古屋界隈まで日帰りモバイルで行ったりしましたね。若かったせいでしょうか。今ではとてもその様なまねはできません。

5月恒例の電波伝搬実験も、男鹿半島・寒風山や山形・蔵王まで足を伸ばしたりしてかなり熱が入っていました。移動や固定から多くの局が出ていた時期でもあり、アクティビティが高かったこともあって、地方ではビーコン代わりに50.240をワッチしている局もありました。秋田県移動した時、横手市の局だったかに、「240は良く聞いています…」などといわれ面食らったことがありました。

その他、長い5λ/8ホイップANTでの出来事としては、湿り雪がエレメントに付着し太巻きの様になって折れ曲がって戻らなくなってしまったり、折れて外れたのに気付かずズルズル引っ張り走行していたり、対向車がやけに避けて行くと感じていたらエレメントが外側に傾斜していたりとか。又、電波が強力過ぎた(?)ためか、アンプ・アイによって白バイや救急車、それに某団体の街宣車のスピーカから自分の声が聞こえてきたり...、いろいろありました。その頃は、240グループというと、5λ/8ANTは象徴のような存在だったと思います。とにかく良く飛ぶANTでした。

240グループのモットーは『より遠く、より強く』です。又、モバイル局優先との取決めから、QSOの合間にブレーキングタイムを取ることが叫ばれてきました。アンテナ&リグの整備で受信能力と送信を良くすること、又、刻々と変化するモバイル特有の伝播状態の中で、声を掛け易くするという事は、今も昔も変わらないことだと思います。今はモバイルから声を出す局が少なくはなりましたが、これからもこのモットーは大事にして行きたいものです。

多くの仲間のことやイベントのこと等々、皆さまもいろんな思いがあることでしょう。これからも更に長く続いて行く事を念じております。

オンエアミーティングや各イベントを継続していることが、長く続いてきた原動力かと思えます。継続は力なりだと思います。続ける事はなかなか大変なことではありますが、各局の御協力で、これからもお付き合いして行けたらFBな事と思っております。

今後ともよろしくお願い致します。

(END)